

過渡吸収スペクトロメータ(TAS)

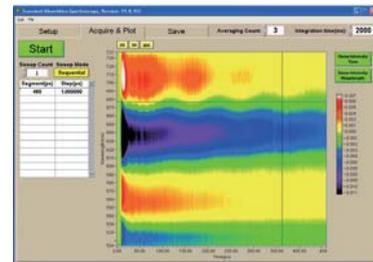
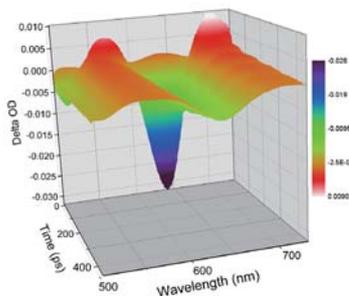
Transient Absorption Spectrometer (TAS)



特長とメリット

- 超高速アンプおよびOPAと一緒に動作可能な柔軟設計
- 標準または強化型ポンププローブ遅延分解能を備えた広範なポンププローブ遅延範囲
- 広いスペクトル範囲に対応する高分解能スペクトロメータ
- 紫外・可視光スペクトル範囲が標準*
- 丈夫で安定動作が可能な工場組立装置。超高速分光装置に容易に組み込みできるように調整済み

ニューポートの過渡吸収スペクトロメータ(TAS)は、フェムト秒ポンププローブ分光向けの最先端の計器です。TASを使用した超高速ポンププローブ実験では、対象サンプルをポンプパルスで励起し、これらのサンプルのダイナミクスを、反射オプティクスを経由させることでチャープを最小限にした白色光のスーパーコンティニュームプローブにより、複数の波長で時間の関数としてモニタします。ファイバー接続型マルチチャンネルディテクターとOriel社のMS127iイメージング分光器を組み合わせることで、プローブ光を波長の関数として検出し、感度とダイナミックレンジの最適な組み合わせを実現します。TASは研究機関での使用を想定して設計されているため、光学レイアウトの構成、検出範囲、スペクトル分解能に非常に高度な柔軟性があります。TASは繰り返し率が1 ~ 5 kHzの範囲におよぶチタンサファイアアンプ用に設計され、使いやすいLabVIEW®ベースのソフトウェアが付属します。



TASのソフトウェアGUI